

2026
新年号

令和8年1月1日発行 No.52

元気おおとよ新聞

HAPPY
NEW YEAR

2026



● 新年のごあいさつ

昨年を振り返り印象に残っていることの一つは、2回にわたって「お山のミライ会議」を開催し、自分たちの町の未来およびエネルギー政策について意見交換をしたことです。^{*1} 近年、毎年のように異常気象と言われ、地球温暖化防止対策として再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなどの、自然界に常に存在するエネルギー源のことで、石油や石炭などの化石燃料の代替エネルギーといわれている）の推進に拍車がかかっています。再生可能エネルギーは、CO2を排出しないという利点がある一方、建設のために山や森が削られ自然環境への影響が問題になっている事例も多くあります。自分たちの町の未来について、みんなで考えることが大切だと気づかされました。

もう一つは、町内に所有されている空き家の残置荷物を片づけて欲しいという依頼が多くなってきたことです。そのおかげで、活用できる物件が増え、3回目の「空き家マッチングツアー」を開催、その結果、大豊町への移住・相談の件数は増えてきております。

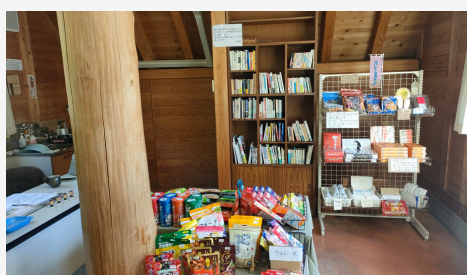
「元気おおとよ」では、その時々状況に合わせて、必要と思われる事・自分達のできる事を団体の活動として取り組んでおります。今後も「明るく元気な大豊町」を目指して、スタッフ一同活動を続けていきたいと思っておりますので、本年も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いします。

皆様にとって、心豊かな一年になりますよう、お祈り申し上げます。

理事長 前多由美子

*1 意見交換の内容は、元気おおとよ新聞2025春号・夏号に掲載しています。ぜひご一読ください。

特集：大豊newスポット！インタビュー▶



特定非営利活動法人 元気おおとよ

元気おおとよは、大豊を元気にする民間団体です。
移住促進／地域交流／集落維持などに取り組んでいます。



080-8635-2253



<https://genki-otoyo.org/>



〒789-0250

高知県長岡郡大豊町黒石363-5
大田口テラス1階

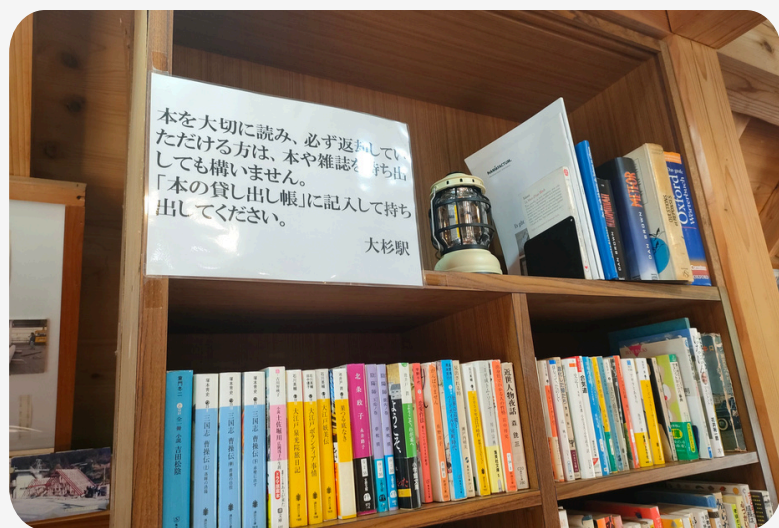
新年あけましておめでとうござい
す。一年の始まりだと、新しいことを
したい人いるのではないでしょう
か？ 今回の元氣おとよ新聞では、大豊
町で「猪突猛進（ちよとつもうしん）」
真っ只中のふたつの新スポットへ伺い
インタビューしてきました。

まず、最初に紹介するのは嶺北の玄関
口「JR大杉駅」。近年、JR四国で
は駅舎を廃止したり、無人化となっ
ていますが、大杉駅の建物は町の交流施
設として、大杉駅サポート協議会によ
り平日の午前中に住民が中心になっ
て管理しています。今回は、会長の塩谷
学（しおやまなぶ）さんにお話を聞い
てきました。



塩谷学（しおやまなぶ）さん

大杉駅サポート協議会会長



最近、JR四国では駅が無人化になっ
ていますが、有人でやっている理由を
教えてください。

最近ではネットで切符を購入すること
が多く、JR四国の多くの駅が無人化と
なっています。しかし、駅に人がいる
ことでネット予約に慣れていない大豊
町のお年寄りが気軽にきっぷを購入で
きます。また、高校生の通学の見守り
や観光客への案内をすると喜ばれ、そ
れがやりがいになっています。

現在、大杉駅で購入できるきっぷにつ
いて教えてください。

JRのシステムの変更により、昔みた
いに指定席や翌日以降のきっぷを購入
することはできないんです。現在、大
杉駅では当日の乗車券及び特急と新幹
線の自由席特急券の販売となっています。
以前は、JRの切符を売ること
で手数料が入り、そこで運営費をまかな
っていたのですが、当日だけだと昔よ
り売り上げが減りました。駅の窓口は
午前中のみ営業していますが、手数料

窓口の維持にもつながりますので、午
後の乗車でもご連絡をいただけたら、
可能な限り午後でも窓口を空けるよう
にしています。町民の方で午後の便で
岡山経由などで新幹線を利用するなど
ありましたら08871721161
7大杉駅までご連絡ください。

会長が塩谷さんにな変わったと聞きまし
たが、新しくしたことはありませんか？

まず、お菓子やお土産などを充実さ
せ、JRを利用する乗客が購入してく
れています。今後はコーヒースタンド
なども置いて町民の人が気軽に利用で
きる場所になったら嬉しいです。
また、図書コーナーを設け、町民や旅
行で訪れた人が借りられるようになり
ました。駅を利用する人以外でも気軽
に本を借りられますので、お近くにお
越しの際はお気軽にお越しください。

利用者からの要望はありますか？

利用者からよく言われるのは、トイレ
が汲み取り式の和式しかなく、近くに
トイレがないのかと聞かれます。ま
た、最近では外国人の利用者も多く、和
式は少し難しく、旅行者の方が躊躇し
てしまうことです。大豊町の玄関口と
して、住民も多く利用しますので、ト
イレが綺麗になる対策をしてほしいで
すね。

最後に一言お願いします。

JR大杉駅は、町の交流施設という事
で、今後は町のイベントや地域の交流
施設になったらいなあと協議会のメ
ンバーで話しています。最近では、メ
ッセージボードも作り、観光客の人が
思い出として残してくれています。町
民の皆さんもぜひ、お越しください。

次にご紹介するのが、元地域おこし
協力隊の岡本裕太（おかもとゆうた）
さん。さんが運営する「ジビエラ
ボ」。主に、ジビエを利用したアク
セサリーやペット商品を開発し、日
曜日やネットではじめ、数々のイベ
ントに出店しています。そんな「ジ
ビエラボ」では、毎週金曜日の十一
時～十六時に穴内地区にあるあなな
い出愛のひろばでペットグッズやコ
ーヒーやホットサンドなどを販売を
始めました。



岡本裕太（おかもとゆうた）さん

元地域おこし協力隊／ジビエラボ

毎週金曜日に営業しているジビエラボ
について教えてください。

現在、毎週金曜日にジビエラボとして
営業しています。実際の店舗を借りる
のはお金の面もかかるので、まずは間
借りとして、穴内の出愛のひろばで営
業をはじめました。ジビエグッズとコ
ーヒーやホットサンドなどを販売して
います。主に販売しているジビエグッ
ズはアクセサリーとペットフード。

それ以外に僕がコーヒーを好きなの
で、淹れたてのコーヒーが大豊町で気
軽に飲める場所があったら良いなあと
考え販売しています。最近では、町民
の方の認知度も上がり、カフェ感覚で
町民の方が利用してくれてとてもうれ
しいです。

ジビエラボを始めた理由は何ですか。

将来的には、自分で家を建てて、加工
場とカフェなどを併設し、ジビエにふ
れあえる場所を作りたいと思っています。
その前に練習として、毎週金曜日
に実店舗で営業ができたなら将来のため
になると思い営業を始めました。

最後に一言何かありますか？

毎週金曜日の営業なので、定期的に訪
れることが難しいかもしれません。国
道三十二号線沿いなので、営業してい
る際は旗などがありますので、見つけ
たら気軽にお寄りください。

元氣おとよ新聞では、今後も大豊町
のNEWSスポットなどを紹介したいと
思っています。ご希望の方は元氣おと
よまでご連絡ください。本年もお山
の手づくり市などの活動も行ってい
きますので、どうぞよろしく願いい
たします。（岩本）

